

令和7年度上半期

村山市水道事業業務状況説明書

令和7年4月 1日 から

令和7年9月30日 まで

山形県村山市

目 次

1. 事業の概要	3
2. 経理の状況	4
3. 令和6年度の決算の状況	6

1. 事業の概要

(1) 工事施行状況

①自然災害による断水に備えるため、幕井水源を利用した緊急時浄水施設の導水管布設工事・浄水施設本体工事を行い、緊急時浄水施設整備事業が竣工しました。

②水道の安定供給のために、大久保・金谷・白鳥・土生田地区の老朽管更新工事を行っています。

③駅西地区の新道の駅整備予定地に布設されている送水管を移設するため、不断水分岐及び弁設置工事や市道駅西中央5号線送水管布設工事を行っています。

(2) 業務状況

令和7年度上半期の給水普及状況は、給水戸数7,737戸、給水人口20,919人で、普及率は行政区域内人口の99.9%です。

また、令和7年度上半期における配水量は1,339,377^m³、有収水量は1,069,811^m³で、有収率は79.9%です。

(令和7年9月30日現在)

区 分	令和7年度 上半期	令和6年度 上半期	対前年度	
			増 減	増減率
1. 行政区域内人口(a)	20,944 人	21,385 人	△ 441 人	△ 2.1 %
2. 給水人口(b)	20,919 人	21,359 人	△ 440 人	△ 2.1 %
3. 給水戸数	7,737 戸	7,733 戸	4 戸	0.1 %
4. 給水栓数	8,737 栓	8,735 栓	2 栓	0.0 %
5. 普及率(b/a)	99.9 %	99.9 %	0 %	—
6. 上半期配水量(c)	1,339,377 ^m ³	1,345,900 ^m ³	△ 6,523 ^m ³	△ 0.5 %
7. 1日平均配水量	7,319 ^m ³	7,355 ^m ³	△ 36 ^m ³	△ 0.5 %
8. 上半期有収水量(d)	1,069,811 ^m ³	1,070,381 ^m ³	△ 570 ^m ³	△ 0.1 %
9. 1日平均有収水量	5,846 ^m ³	5,849 ^m ³	△ 3 ^m ³	△ 0.1 %
10. 上半期有収率 (d/c)	79.9 %	79.5 %	0.4 %	—

2. 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	収入額		
		上半期	下半期	計
第1款 事業収益	608,897,000	280,649,599	－	280,649,599
第1項 営業収益	548,425,000	278,823,800	－	278,823,800
第2項 営業外収益	60,432,000	1,472,695	－	1,472,695
第3項 特別利益	40,000	353,104	－	353,104

支 出

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	執行額		
		上半期	下半期	計
第1款 事業費用	604,789,000	135,047,669	－	135,047,669
第1項 営業費用	597,053,000	132,153,179	－	132,153,179
第2項 営業外費用	6,616,000	2,864,124	－	2,864,124
第3項 特別損失	120,000	30,366	－	30,366
第4項 予備費	1,000,000	0	－	0

(2) 資本的收入及び支出

収 入

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	収入額		
		上半期	下半期	計
第1款 資本的收入	30,541,000	0	－	0
第1項 工事負担金	20,000,000	0	－	0
第2項 固定資産売却代金	20,000	0	－	0
第3項 他会計出資金	10,521,000	0	－	0

支 出

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	執行額		
		上半期	下半期	計
第1款 資本の支出	732,199,000	511,326,096	－	511,326,096
第1項 建設改良費	672,716,000	481,756,216	－	481,756,216
第2項 企業債償還金	59,483,000	29,569,880	－	29,569,880

3. 令和6年度の決算の状況

(1) 総括事項

市民の快適な生活を支える安全な水を安定供給するために、老朽化した配水管の更新工事、民間の宅地開発に伴う配水管の新設工事を実施しました。

また、自然災害による断水に備えるため、幕井水源を利用した緊急時浄水施設の整備工事を実施しています。

(イ) 工事施行状況

建設改良費の総額は418,148,673円で、うち配水設備改良費が417,297,032円です。

安定供給のために、楯岡新町・河島・林崎・基点・大槇・土生田地区の配水管等更新工事、大旦川河川整備に伴う送水管移設工事を行いました。

また、定住促進のために、次世代まちづくり開発促進事業による楯岡鶴ヶ町地区の宅地開発に伴って配水管新設工事を行いました。

さらに、自然災害による断水に備えるため、緊急時浄水施設の建屋工事、着水井及び浄水槽工事を行いました。

(ロ) 業務状況

令和6年度末の給水普及状況は、給水戸数7,670戸、給水人口21,113人で、普及率は行政区域内人口の99.9%です。

また、年間配水量は2,644,059 m³、年間有収水量は2,088,566 m³で、有収率は79.0%です。

(ハ) 経営状況

予算の執行にあたっては効率的な経営をめざし費用の節減に努力しましたが、給水収益は、給水人口の減少、節水意識の高揚などにより、前年度比で12,681,919円減少しました。

その結果、収益的収支（消費税抜）は、総収益558,828,103円、総費用557,736,249円で当年度純利益が1,091,854円となりました。

一方、資本的収支（消費税込）は、収入総額106,582,909円、支出総額482,934,766円となり、差376,351,857円の収入不足が生じました。この不足額を過年度分損益勘定留保資金158,710,668円、建設改良積立金190,000,000円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額27,641,189円で補てんしました。

(2) 経営指標に関する事項

令和6年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す総収支比率は、人口減少に伴う給水収益の減少等により前年度比0.4ポイント減の100.2%となりましたが、健全経営の水準とされる100%を上回っています。